



上映会+講演会を全国20か所で開催

(特非) アジア太平洋資料センター (PARC)

携帯電話等小型電子機器と鉱物採掘における 環境問題の関係性を示した 環境教育教材の開発・実践および普及

一般助成

3年目

知識の提供・
普及啓発

DVD教材の
配布先

369校

勉強会・セミナー
などの参加者

210人

活動の全体目標に
対する達成度

95%

課題

携帯電話などの小型家電に使用されている鉱物は世界中で採掘されているが、その現場で起きている環境破壊について、日本の消費者に十分に伝える必要がある。

目標

私たちが日々使用している小型家電とそれらに使われている鉱物のために環境破壊が行われている、あるいは行われようとしていることをつなげて説明する環境教育ビデオを作成し、広く若者層に普及啓発を行う。

活動内容

環境教育ビデオを作成し、50ヶ所以上の教育機関延べ1,000名以上の学生に問題が伝わることを目指す。また、そのために現場を3ヶ所以上訪れ、合計30日間程度の取材を行う。映像教材の制作と並行して、各取材箇所にもつわる報告会などを通して市民社会への問題の普及啓発にも努める。また、日本の電気電子産業にも協働で問題解決に資するように働きかけを行う。



シンポジウムの模様は新聞に掲載され大きく波及

達成できなかったこと

教材を活用した教職員からの使用感などのフィードバックや教員同士のオンラインコミュニティをつくることが十分に達成できなかった。キャパシティに対し多くを求めすぎた。

今後の展望

教材のさらなる活用。活動内容をまとめた書籍の出版。新たな国際キャンペーンの展開など。

成果と工夫した ポイント



成果

369ヶ所の学びの場で若者にとって身近であり、かつ現代世代を象徴する機器の一つであるスマホを切り口に環境問題を紹介する教材が流通したことで、3,000名以上の若者に環境問題の啓発が進んだと推察される。

工夫

古典的な環境問題と若者の興味関心をつなげること、日本の産業構造を考えたアプローチを兼ねること。